



山中みさお県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

人口減少への危機感を訴え!

2月県議会予算委員会に登壇

日本の人口推計

2060年には約8700万人まで減少?



山中委員 国は昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、12月に長期ビジョンや総合戦略を閣議決

千葉市若葉区選出で、県議3期目ながら県政の中堅として積極的な議会活動を展開する山中操やまなか・みさお(県議)は、2月定例県議会の予算委員会質疑に登壇し、市民の視点から要望や提言を行いました。少子高齢化に伴う人口減少問題では、強い危機感を訴え、県の基本的な考えをたどりました。これに対し、森田知事は「就労から結婚、出産、子育てまで切れ目のない支援」に地域ぐるみで取り組んでいく考えを示しました。深刻な看護師不足や自転車事故への対策など、市民目線での山中県議の主な質疑を特集しました。



予算委員会で人口減少問題を質問する山中県議

出産、子育てなど少子化対策求めて

合計特殊出生率が現在の低水準のまま推移すれば、2060年には約8700万人まで減少すると推計しており、今後、何らかの対策を取らない場合は、人口減少は急激に進むものと認識しています。

山中委員 人口減少に歯止めをかけるため、県は少子化対策にどのように取り組んでいくのか。

森田知事 急激な人口減少に歯止めをかけるためには、結婚して家庭を持ち、子育てをしたいという若者の希望がかなえられるよう、取り組んでいくことが重要だと考えています。

若者の職場定着支援を

山中委員 次に、中小企業の若者の職場への定着支援について伺います。最近では、景気回復を受けて企業の求人が増えています。若者の大企業志向もあつて、中小企業で必要な人材を採用することが難しくなつたと聞かれるようになりました。

また、昨今は企業がせっかく若者を採用しても、すぐに辞めてしまい、定着しない

中小企業の離職者対策

山中委員 多くの中小企業が、離職率の高さに悩ま

られています。県では、平成27年度から「中小企業職場定

着支援事業」を実施すると聞いています。この事業の内容はどうか。

商工労働部長 本事業の内容ですが、入社後3年以内の若手社員向けには、コミュニケーション能力向上のための研修や悩みを共有できる同世代の交流会などを実施し、職場定着に向けたフォローアップを行います。

また、企業向けには、上司・先輩社員を対象に、若手社員を適正に指導・育成するための研修などを実施し、受け入れ側の意識改革など、職場環境の改善に取り組めます。

●安心・安全 災害に強い若葉区を!

山中みさお県議事務所

〒264-0024 千葉市若葉区高品町1585-21 TEL.043(234)5252

HPもご覧下さい。… <http://www.yamanakamisao.jp>

市民の視点で施策提案

深刻な看護師不足に対策を!

県立看護大学学生の就業状況



予算委の副委員長として審議を進行する山中県議

平成27年度は、新たに大学3校への施設整備補助として、約8億5千万円を当初予算案に計上しており、それにより260名の養成数の増加を見込んでいます。

山中委員 離職した看護師の届け出制度の創設に伴い、県は今後どのように対応していくのか。

保健医療担当部長 届

け出制度の創設により、潜在看護師の所在が明らかとなり、県ナースセンターからさまざまな働きかけが可能となることで、今後、再就業する看護師の増加が期待されます。一方、届け出は本人の努力義務とされていることから、今後、届け出を促進するための方策が重要と考えています。

自転車保険の加入義務化を提案

山中委員 自転車が関係する交通事故は、毎年、全交通事故の4分の1近くを占めていると聞いています。自転車には、強制保険制度がないため、大きな事故が発生しても被害者に対して十分な補償がなされないというところもあるのではないかと考えています。県として、県民に自転車保険の加入を義務付けることはできないか。

環境生活部長 県としては、被害者救済という観点からも自転車保険加入の必要性について認識しているところであり、まずはさまざまな機会を捉え、加入を促進

環境生活部長 学生、社会人及び高齢者など、各世代に応じた交通安全教室などで、自転車の基本的なルールやマナーについて、周知を図ってまいります。

要望 いずれにしても、自転車保険は大切なものだと考えます。他県の事例なども研究しながら、保険加入の促進について、引き続き広報啓発していただけるよう要望します。

県営水道の普及促進

山中委員 県営水道の未普及地域の普及促進について、どのような取り組みを行っているのか。

水道局長 配水管が敷設されていない地区の住民の方から、給水要望があった場合には、そこに配水管を敷設する費用について、対象家屋1軒につき配水管の敷設延長20メートルまでの工費を

山中委員 現在、中期経営計画において、配水管の整備を進めています。未普及地区からの要望や配水管整備の状況はどうか。

山中委員 現在、中期経営計画において、配水管の整備を進めています。未普及地区からの要望や配水管整備の状況はどうか。

山中委員 自転車のルール、マナーの徹底を図るため、どのように取り組んでいく

山中委員 現在、中期経営計画において、配水管の整備を進めています。未普及地区からの要望や配水管整備の状況はどうか。

山中委員 現在、中期経営計画において、配水管の整備を進めています。未普及地区からの要望や配水管整備の状況はどうか。



鹿島川の護岸整備 推移状況

水道局長 平成23年度から25年度までの3年間で、未普及地区の1246戸から要望を受け、18.6キロの配水管を敷設しました。

山中委員 そのうち、千葉市内の県営水道区域における配水管の整備状況はどうか。

水道局長 千葉市分ですが、平成23年度から25年度までの3年間に、707戸から要望を受け、9.7キロの配水管を敷設しました。

要望 私の地元、千葉市若葉区においても、配水管が整備されていないため、井戸を利用している未普及地区があります。安全な飲料水を供給することは重要なことから、未普及地区からの給水要望に対しては、住民の方々の負担の軽減を考慮しながら、配水管の整備に努めてもらうよう、要望します。

お知らせ

山中操県議の2月定例県議会の予算委員会での質疑の模様は、県議会のホームページを開き「インターネット中継(録画)」をクリックし、議員名から再生すれば、すべてご覧いただけます。



更科小学校信号機設置